



「一月往ぬる(行く)、二月は逃げる、三月は去る。」といいますが、まさに2023年の年明けからあつというまに2ヶ月が過ぎ、年度末の3月に入りました。この時期は、学年のまとめ、そして6年生は卒業、進学へ、在校生は進級の準備などで目白押しです。三川小も6年生を送る会を終え、いよいよ卒業式間近です。令和4年度も1ヶ月を切りましたので、一日一日を有意義に過ごしてもらいたいと思います。3月第11号は、子どもたちの活動の様子を中心にご紹介いたします。

『6年生へ感謝の気持ちを込めて笑顔で送り出そう!』6年生を送る会

令和元年度からコロナ禍で開催の制約を受けてきた6年生を送る会ですが、今回は久しぶりに全校児童参加と保護者参観により開催することができました。最高学年として引っ張ってくれた6年生に感謝の気持ちを表すとともに、学校の伝統や三川小らしさを6年生から受け継ぐ心意気を持って、送る会を開催しました。4年ぶりの全校児童参加により、会場は、ほのぼのとした、またユーモアのある各学年の手作りの発表に、思わず微笑んでしまう楽しく、心温まる会となりました。ありがとう6年生!!



1年「おおきななが」



2年「かさこじぞう」



3年「ありがとうを音楽にこめて」



4年「ダンスで送ろう」



5年「ありがとう6年生」



6年生からお礼の寸劇発表



6年生入退場シーン



チームで長縄とび新記録に挑戦! ~ 全校なわとび集会 ~



2月3日(金)になわとび集会が行われました。ここまで、約1ヶ月にわたって、なわとび活動として、毎週火・水曜日の業間の休み時間に、全校を縦割りにして10チーム編成に分け長縄とびの練習、また「遊・友スポーツランキングちば」へのチャレンジで、毎週1回、クラスごとに個人での短なわとびの跳躍数に挑戦しました。チーム練習では、6年生が、低学年へ優しく跳び方を教えてくれたり、失敗しても気にせずにチャレンジできるよう励ましてくれました。



校内読書賞 ◎たくさん本を読みました◎

- ◇1月達成(1月16日以降の達成)
(1年)4名 (5年)1名
- ◇2月達成(2月23日時点の達成)
(1年)9名
(2年)1名 (3年)2名
(4年)3名 (5年)2名

〈現時点での今年度読書賞授与者総数 累計137名〉
(ただし、一人で複数回の受賞を含む。)
※個人情報保護により氏名掲載は省略しております。



※個人情報保護により氏名掲載は省略しております。

表彰児童紹介

大賞 灯台の日本一の夕焼けは未来へ残す思い出の場所

- ★旭市ふるさと文芸賞★（旭市HPに掲載：右参照）
（4年）*****さん【大賞 小学生の部・短歌】
（6年）*****さん【優秀賞 小学生の部・詩「いろいろな旭」】

いろいろな旭
海が美しい旭
生き物がたくさん旭
自然がたくさん旭
歴史がたくさん旭
見つめなおすと
いろいろな発見がある
そんな旭が
大好きだ

- ★善行児童表彰★ （6年）*****さん

- ★千葉県小・中高校書き初め展覧会★【書星会賞】
（6年）*****さん、*****さん、*****さん（5年）*****さん
（4年）*****さん、*****さん、*****さん（3年）*****さん、*****さん

- ★社会を明るくする運動作文コンテスト★【優秀賞】（6年）*****さん（5年）*****さん

- ★明るい選挙啓発ポスター★【優良賞】（3年）*****さん（広報あさひ令和5年3月1日号に写真掲載）

- ★新川浄化運動啓発ポスター★【努力賞】（5年）*****さん

- ★環境保全および美化の推進に関する標語★【優良賞】
（6年）*****さん 『ごみひろう すてきなかげに かがやく光』
（6年）*****さん 『ごみへらす その行動が 旭をかえる』

- ★旭市図工・美術作品展★
【奨励賞】(2年)*****さん
【入選】(6年)*****さん、*****さん、*****さん
(5年)*****さん、*****さん、*****さん
(4年)*****さん、*****さん、*****さん
(3年)*****さん、*****さん、*****さん
(2年)*****さん、*****さん
(1年)*****さん、*****さん、*****さん



- ★運動能力証★
（6年）*****さん、*****さん、*****さん 【奨励賞】(2年)*****さん [わにのおいさんのたからもの]
*****さん、*****さん、*****さん、*****さん、*****さん、*****さん
（5年）*****さん、*****さん、*****さん、*****さん、*****さん、*****さん、*****さん

人にやさしいまちづくり～小学生認知症サポーター養成講座

「認知症サポーター」とは、何か特別なことをする人ではなく、認知症を正しく理解し、認知症の方とご家族を温かく見守る応援者のことです。その上で、自分のできる範囲でサポーターとして活動していきます。

認知症サポーター養成講座で得た知識を生かし、近所で気になることがあればさりげなく見守る、まちなかで困っている人がいたら手助けすることも立派な活動の一つです。

今回、三川小で初めての試みで、6年生を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。旭市高齢者福祉課、地域包括支援センタースタッフの方々が講師となり、認知症は脳の病気であることや脳の記憶に影響が出ることや講義でわかりやすく説明いただき、続いて寸劇を交えて、認知症の人への対応と認知症の人は何もわからなくなってしまう訳ではなく、昔のことや人の気持ちはわかることを理解する内容でした。

日常での手助けがあれば、認知症の方が穏やかに生きていくことが可能であることをふまえ、プライベートで高齢者と接する際に役立つだけでなく、小学生段階から認知症の理解を深めることにつながる一つの機会となりました。認知症サポーター養成講座の受講証明としてオレンジリングをもらいました。（右画像）

講座修了後の児童アンケートには、「認知症高齢者の方にやさしく接してあげたい。」という意見が多く寄せられていました。三川っ子たちが、高齢化の進むこの旭市において、認知症高齢者にとってやさしい地域づくりに寄与してくれることを願っています。

